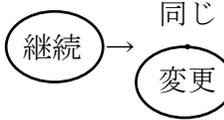


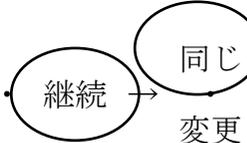
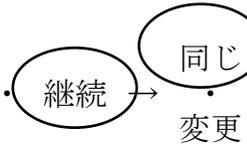
目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
<p>① サービス事業者が支援に係る知識の習得や技術が向上し、サービス内容の充実につなげる</p> <p>② サービス管理責任者、生活支援員の質の向上</p> <p>③ 他の事業所の支援内容を知ること で、サービスの質の向上に繋げられるよう 必要な支援を学ぶ ※</p>	<p>◇日中活動系連絡会・就労支援連絡会合同連絡会</p>	<p>P. 35</p>	<p>第1回6月5日開催 【参加者 20名】 近況報告・情報共有 第2回10月2日開催 【参加者 19名】 事業進捗報告 第3回令和6年2月2日開催</p>	<p>各事業所の取り組みを知ることができた。 今年度の取り組みに向けての意見交換や、役割分担を行った。</p>	<p>終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更</p>	
	<p>◇日中活動系事業所の受け入れによる事業所見学会 (対象：障がい福祉サービス事業所職員)</p>		<p>11月27日(月)～12月8日(金)実施 参加者：30名 受入事業所：9事業所</p>	<p>日中活動系や就労支援の事業所が生活介護等の事業を見学することで自事業所のサービスの質の向上につながった。また、こどもの事業所が卒業後の進路相談をされた時に役立つ機会となった。 日中の事業所が他の生活介護等の見学期間の提示から希望・調整の期間が短かった。</p>	<p>終了 ・ 継続 → 同じ 変更</p>	<p>見学期間の提示から希望・調整の期間が短かった為、次回以降希望・調整の期間を長くする。 来年度は、受け入れ事業所を変更して(こどもの事業所)事業所見学会を実施していく。</p>

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇事例検討会		10月2日開催 【参加者 19名】 事例提供者：就労継続支援A型事業所地球子ども村 大竹泰史 助言者：愛知県精神保健福祉センター 医師 関口純一 テーマ：「共依存関係の親子の自立を促すためにできること」	日中活動系・就労支援連絡会を合同で4グループに分かれてグループワークを行い、各グループとも事例の課題及び課題解決に向けてのアイデアを出し合うことができた。 助言者の医師より共依存関係の家族について支援のあり方のアドバイスを受けた。	終了 ・ 継続 → 同じ変更	日中の生活を支える事業所や就労を支援する事業所のサービスの質を上げるには事例検討会は必須である。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
<p>① 余暇活動の場の確保</p> <p>② 市民のスポーツ大会・イベント等に障がいのある人が参加する</p> <p>③ 障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実※</p>	<p>◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催</p>	<p>P. 38 P. 46 P. 47</p>	<p>①にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせ 毎月開催 【担当者 7名】</p> <p>②11月25日(土) 10:00～15:00開催 場所：小牧市にぎわい広場駅西エリア 【5事業所参加】 来場者：188名(延べ) クイズラリー参加者：96名 アンケート記入者：43名</p>	<p>地域の皆様に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で取り扱う商品を販売することができた。</p>	<p>終了・継続・変更 (※)</p> <p>終了 ・ 継続 → 同じ 変更</p>	<p>マルシェの開催により、障がい就労施設による物販の機会の充実を図る。マルシェを行う会場やにじカフェと一緒に行動するか検討していく。</p>

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き			③とよめサロン利用活性化プロジェクトへの協力 第1回 9月27日開催 会場：とよめサロン 【8事業所参加】 ・物販 ・地域の保健相談 【マルシェ来場者78名】 第2回 令和6年1月30日開催 会場：とよめサロン 【8事業所参加】 ・物販 ・地域の保健相談 【マルシェ来場者47名】	地域の方々に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で取り扱う商品を販売することができた。 平日にどこにも通っていない利用者に案内したことで来場され、余暇の時間を過ごすことができた。	終了・ 	マルシェを開催することで、地域の方々に、福祉サービス事業所のPR、物販の促進に繋がる。また、利用者に案内することで、余暇の時間を提供することができる。 今後も、とよめサロン活性化プロジェクトへ協力していく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	<p>◇小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の情報共有、参加（小牧市障がい者（児）スポーツ・レクリエーションや、小牧市障がい者作品展「こまきアール・ブリュト展」等のイベント）</p> <p>◇ボランティア活動の窓口となる社会福祉協議会と連携し、障害のある人の余暇活動の支援を行うボランティアに参加協力の依頼</p>	P. 38	<p>①サンデーボランティア主催 身体障害者福祉協会協力 「ボッチャ教室」 7月よりふれあい総合相談支援センターの相談支援専門員が利用者へ試験的に参加を呼びかけた。 参加者 7月：17名 8月：15名 9月：16名 10月：18名 11月：18名 12月：18名 1月：27名</p> <p>②10月より、とよめサロンにて福祉サービス事業所の作品展示。</p>	<p>①・呼びかけた利用者の中では、「楽しかった」と、継続して参加されている。</p> <p>・日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に定期的にメールやチラシを配り、徐々に周知ができてきた。</p> <p>・余暇活動の場のひとつとなってきた。</p> <p>・令和6年1月より個人ボランティアが参加し、審判の協力を得ている。</p>	<p>終了 ・継続 → 同じ 変更</p> <p>終了 (継続) → 同じ 変更</p>	<p>理由・根拠</p> <p>とよめサロンだけでなく、作品展示できる場所があれば、情報提供を行っていく。</p>

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き			<p>③小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーション 参加者：114名 ボランティア：69名 保護者、施設職員：90名 計：273名</p>	<p>新型コロナウイルスが5類に移行され、昨年より多くの方が参加された。 (参考) 令和4年度スポーツ・レクリエーション参加者：76名 ボランティア：54名 保護者、施設職員：63名 計：193名</p>	<p>終了</p> 	<p>小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーションを通して障がい者理解を進めていく。また、障がいのある人の参加を促進する。</p>
			<p>④こまきアール・ブリュット展 開催日：12月2日～10日 会場：ラピオ 来館者数：633名 会場：図書館 来館者数：不明</p>	<p>①事務局よりメールでチラシデータを日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に送り周知ができた。 ②主催者である小牧市がチラシを市役所、市内事業所に広報。12月広報こまきに掲載された。</p>	<p>終了</p> 	<p>障がいのある人の創作活動や展示・発表の場など必要な情報提供をしていく。</p>

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
① 障がい者が日中通える事業所をPRする	◇「障がい者が通う日中活動系事業所ガイドブック」の更新 (2月完成予定)	P. 32	◇2月末に、完成予定で校正中		終了・継続 → 同じ・変更	
	◇にじいろマルシェ こまき社協だより掲載 (12月号)		10月号のこまき社協だよりで11月25日開催のにじいろマルシェを掲載 11月号のこまき広報に掲載	社協だよりや広報を見てマルシェに来てくれる方がいた。	終了 → 継続 → 同じ・変更	マルシェの広報により、障がい者理解を進めていく。また、障がい就労施設による物販の機会の情報提供をする。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更